

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ラッセルの退屈論を検討しよう。^{*1}

退屈とは何か？ ラッセルの答えはこうだ。退屈とは、①事件が起こることを望む気持ちがくじかれたものである。

どういうことだろうか？ ラッセルの言わんとするところを理解するためには、ここで「事件」が何を意味しているのかを②メイカクにしなければならぬ。

ここに言われる「事件」とは、今日を昨日から区別してくれるもののことである。

人は毎日同じことが繰り返されることに耐えられない。「同じことが繰り返されていくのだろう」と考えてしまうことにも耐えられない。だから、今日を昨日から区別してくれるものをもとめる。もしも今日何か事件が起きれば、今日は昨日とは違った日になる。つまり、事件が起きれば同じ日々の③反復が断ち切られる。だから人は事件を望む。しかし、そうした事件はなかなか起きはしない。こうして人は退屈する。これが、「事件が起こることを望む気持ちがくじかれたもの」という退屈の定義の意味するところである。

こう考えると④奇妙なことに気がつくだろう。退屈する心がもめているのは、今日を昨日から区別してくれる事件である。ならば、事件はただ今日を昨日から区別してくれるものであればいい。すると、その事件の内容はどうでもよいことになる。不幸な事件でもよい。悲惨な事件でもよい。

「他人の不幸は蜜の味」と言われる。だれかが他人の不幸を⑤快く感じたとしても、それはその人の性質が根底からねじ曲がっていることを意味しない（もちろんすこしはねじ曲がっているかもしれないが）。この蜜の味には、⑥ある構造的な要因があるのだ。

しかもそれどころではない。事件を望む気持ちは、他人の不幸はもちろんだが、我が身に降りかかる不幸にすら及ぶだろう。退屈する人間はとにかく事件が欲しいのだから。人間は自分が不幸になることすらもとめうる。

したがって最終的に次のように述べられることになる。「ひと言で言えば、退屈の反対は快樂ではなく、興奮である」。

退屈しているとき、人は「楽しくない」と思っている。だから退屈の反対は楽しさだと思っている。しかし違うのだ。退屈している人間がもめているのは楽しいことではなくて、興奮できることなのである。興奮できればいい。→ i ← 今日を昨日から区別してくれる事件の内容は、不幸であっても構わないのである。

退屈する人間は興奮できるものなら何でももとめる。それほどまでに退屈はつらく苦しい。^{*2}ニーチェも言っていた通り、人は退屈に苦しむのだったら、むしろ、苦しさを与えてくれる何かをもとめる。

それにしても、人が快樂などもとめていないとは驚くべき事実である。「快樂」という言葉がすこしかたいなら、「楽しみ」と言ってもいいだろう。退屈する人は「どこかに楽しいことがないかな」としばしば口にする。→ ii ←、彼は実は楽しいことなどもとめていない。彼がもめているのは自分を興奮させてくれる事件である。

これは言い換えれば、快樂や楽しさをもとめることがいかに困難かということでもあるだろう。楽しいことを⑦セツキヨクテキにもとめるといのは実は難しいことなのだ。

しかも、人は X ゆえに興奮をもとめてしまうのだから、こうも言えよう。幸福な人とは、楽しみ・快樂を既に得ている人ではなくて、楽しみ・快樂をもとめることができる人である、と。楽しさ、快樂、心地よさ、そうしたものを得ることができる条件のもとに生活していることよりも、むしろ、⑧そうしたものを心からもとめることができることこそが貴重なのだ。

^{*3}有名な聖書の言い回しを⑨Aもじって、こんな風に言えるだろうか。

—— 幸いなるかな、快樂をもとめることができる人。彼らは事件をもとめることがないだろう。

ならば問題は、いかにして楽しみ・快樂を得るかではない。いかにして楽しみ・快樂をもとめることができるようになるか、である。

（國分功一郎『暇と退屈の倫理学』による——一部改訂——）

（注） *1 ラッセル……バートランド・ラッセル。イギリスの哲学者。

*2 ニーチェ……フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ。ドイツの思想家。

*3 有名な聖書の言い回し……『マタイによる福音書』五章中の「幸いなるかな、心の貧しき人。天国はその人のものなり。」をさす。

問一、傍線部ア～オのカタカナは漢字に改め、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問二、へ i へ、へ ii へ にあてはまる接続詞として最も適当なものを次のア～オの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア だが イ なぜなら ウ そして エ ところで オ だから

問三、傍線部A「もじって」について、「もじる」の意味として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 尊重する イ 言いかえる ウ 批判する エ 組み合わせる

問四、傍線部①「事件が起こることを望む気持ちがくじかれたもの」とはどういうことか。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 昨日とは違う幸せな今日を期待しても、不幸な出来事しか起こらない毎日に失望している状態。
- イ 同じ日々の反復を断ち切ろうといくら努力をしても、失敗を繰り返すことに疲弊している状態。
- ウ 平凡な毎日に変化をもとめても、自分が望むような出来事は起こらないことに心が晴れない状態。
- エ 社会の関心を集める大きな事件を望んでも、身近な事件しか起こらない日々を満たされない状態。

問五、傍線部②「奇妙なこと」とはどういうことか。本文中の語句を使って答えなさい。

問六、傍線部③「ある構造的な要因」とは何か。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 退屈する人間はその状態から逃れられるのであれば、他人の不幸ですら望むこともあるということ。
- イ 常に競争を強いられる環境におかれると、他人の不幸を喜ぶ感情も生まれることもあるということ。
- ウ 様々な人間が共存する社会においては、性質が根底からねじ曲がっている人も少しはいるということ。
- エ 自分が望む幸せがもたらされない絶望的な日々の中で、人は不幸なことしか望まなくなるということ。

問七、Xにあてはまる漢字二字の言葉を本文中から抜き出さない。

問八、傍線部④「そうしたもの」がさす内容を本文中から抜き出さない。(句読点等も含む)